

# 「中学校へダッシュ！！」 小6 学級活動(1月) 授業実践プログラム4

## 1 題材設定の理由

### (1) 活動内容・項目

- ☆ 主たる内容・項目
  - 〈(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること〉
    - 希望や目標をもって生きる態度の育成
- ★ 関連する内容・項目
  - 〈(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること〉
    - 望ましい人間関係の育成
    - 学級や学校における生活上の諸問題の解決

### (2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

中学校入学は、子どもたちにとって、学級担任制から教科担任制への移行をはじめ学校規模や通学区域の拡大、部活動への参加とそれに伴う対人関係の変化、新たな学校規則や生活スタイルへの対応など大きな環境の変化を意味する。また、思春期にも入り、身体的にも精神的にも大きな変化となり、二重の意味で危機的な時期である。こうした移行期に、すべての児童を対象として、不安の軽減・解決に向けた対処スキルと社会的支援プログラムを実施することは、その後の生活に大きな意味をもつものとする。

今回は、多くの子どもが会える課題として「中学校入学時の適応」上の困難を予測し、自分と自分の身近にあるリソース(資源)を見つけることにより、自分自身の中にある自助資源、あるいは環境の物的・人的資源などに気付き、今後、積極的にその活用を図るきっかけとしたい。

### (3) 指導法・指導上の留意点

- ① リソース(資源)探し(※1)の手法を用いることで、課題を解決していくためには、自分自身の中に、あるいは、自分の周りに自分をサポートしてくれる「人・もの・こと」があることを意識化させ、必要なときにはいつでもそれらを活用することができることに気付かせる。
- ② 予防教育的なピア・サポート(※2)の手法を用い、互いに言葉をかけ合うことで評価をかえたり、人の助けを感じたりできることに気付かせる。
- ③ ミラクルパワーシート(※3)の活用を「日常の活動」として取り入れていく。
  - ※1 「子どもたちは、すでに問題解決のための資源をもっているという考え方」
  - ※2 「同世代の仲間による支援のこと」
  - ※3 「自分や身の回りにあるリソース(資源)を知り、活用するための補助シート」

## 2 指導目標

- (1) 中学校生活や学習への不安や心配等に対して、自分の内と外の視点からさまざまな資源(リソース)があることに気付き、それらを積極的に活用しようとする態度を身につける。

## 3 指導計画

### (1) 事前・事後指導

- <事前指導> - 学級活動 ; 「仲間っていいな！」の授業を実施する。
- <本時> - 学級活動 ; 「中学校へダッシュ！！」の授業を実施する。
- <事後指導> - 朝の会等 ; ミラクルパワーシートの活用を図る。  
仲間が互いに支え合う関係づくりを進める。

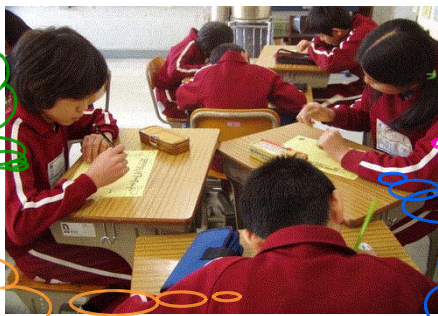
### (2) 教科指導等との関連

各教科等 ; 学習や諸活動における目標設定と解決方法に関する支援に生かす。





うーん、何を  
書こうかな。



わたしの元気の  
素は？

自分の中のいいところ  
・・・マイペース、  
まじめ、えーっと

わたしを支えてくれるの  
は、お父さん、お母さ  
ん、そして・・・親友  
のT子ちゃん???

②シートを自分で見渡して振り返る。

けっこう、周りの  
人に支えられてる  
かもしれない。



自分で見て、  
どうだった？



いつも一人じゃないし、  
困ったときにはまわりに  
たくさんの人やものが存在して  
いることがわかった。

③「自分を励ますやさしい言葉」を心の中で自分に語りかける。



自分に自信をもて！  
君はできる。

④「自分を励ますやさしい言葉」を相手からかけてもらう。(ペアで)

やさしい言葉をかけられると、  
なんか恥ずかしいような、  
嬉しいような感じがするな！



□ **まとめ (5分)**

3 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを、「ふりかえりカード」に書き、本時のまとめをする。

## 6 児童の反応

### (1)「ふりかえりカード」から

- 今日の授業は、自分の持っているよいところ（ピアノが得意・スポーツが好き・元気なところ）を改めて感じることができました。とてもよい活動でした。
- みんなの元気の素を聞くと、マンガとかペットなど自分とだいたい同じなんだなあと思った。中学校へ行って不安なことがあっても元気を出してがんばりたい。
- 自分を励ます言葉を誰かに言ってもらえると元気が出るなと思った。A君は最高だった。やっぱり励まされるとうれしかったし、中学校の不安もだいぶなくなった感じです。この授業は案外楽しかったです。
- 元気の素や励ましの言葉など意外と身近にあった。自分は周りの人の力でも生きているということが分かった。周りの人にも感謝しなければならない。
- いつも一人じゃないし、困った時は周りにたくさんいることが分かったし、自分のことも分かった。
- 元気の素や励ましの言葉は日常で使う言葉ばかりだった。言われるとうれしかったり、また、がんばったりできるかもしれないと思った。悪い心など一瞬にして消えてしまうかもしれない。
- いい言葉がたくさんあった。身の回りを見ると、元気が出るものがあった。他にもあるか探したい。今日の活動を生かして、3学期もがんばりたいです。
- 自分で自分を励ましたりしたけど、友達から励まされてとてもうれしかったので、今度は自分が友達を励ましてあげたいと思いました。
- 自分が持っている力やみんなの気持ちがよく分かるゲームだった。うれしいことや自分を励ましてくれるものや人を見直してよかったと思う。



## 7 授業者・参観者の感想、授業改善の視点

- 資源（リソース）を探す活動を通して、自分の良さに気付く児童が多かった。思ったよりも書けていたようだ。
- 自分の長所を書くことがなかなかできない子がいた。自分の内面を見つめる時間は大切だと思った。
- 問題への対処法では、やさしい言葉をたくさん考えつく児童もみられた。
- 子どもたちが自分の中のリソース（自助資源）を見つけられないということは、日頃の自己肯定感を育てるかかわりが不足しているのだと私自身感じた。これをもとに、卒業へ向けて一層意識してかかわっていきたい。
- 自分のことや周りのことを考え直す活動はよかった。少ししか書けない児童に対しては、書き加える時間を十分与える必要があった。
- 「自分のよさ」「自分を支えるもの・人」についてどう反応しているのか葛藤している児童に対して事後指導が重要であると感じた。
- 男女のペアだと恥ずかしがる部分もあり、ペアリングをもう少し工夫すればよかった。

## 8 関連プログラム・参考文献等

### ◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」  
福島県教育センター教育相談チーム編

### ◇ 参考文献

- ・「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」  
黒沢幸子著 金子書房
- ・「問題にこだわるよりリソースを見つけよう」  
月刊学校教育相談 2003年5月号 ほんの森出版
- ・「学年はじめのリソース探し」  
月刊学校教育相談 2005年4月号 ほんの森出版



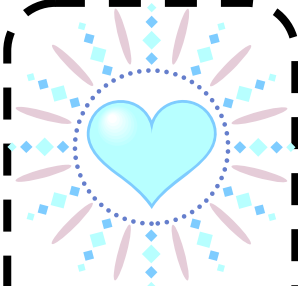
# 自分( )のシート



自分を励ます

やさしい言葉

- ☆
- ☆
- ☆
- ☆
- ☆



**元気の素！！**

- ☆
- ☆
- ☆
- ☆
- ☆
- ☆



<例示>

# マイカルポート



## 自分を励ます

## やさしい言葉

- ☆ わたしにはわたしだけの才能がある
- ☆ 一人ではむりでも助けてくれる人がいる
- ☆ がんばってるね
- ☆ 失敗も貴重な経験になる
- ☆ だいじょうぶだよ
- ☆ いろんな体験ができると思うとワクワクする など



親友

兄弟姉妹

おかし  
チョコレート

歌が  
大好き

野球  
グローブ

のんびりや

気がや  
さしい

両親

自分(○○○○)

担任の  
先生

いとこ

ペット  
犬など

サッカー  
が好き

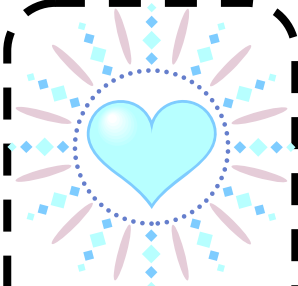
冒険  
好き

同じクラ  
スの友達

くまのぬ  
いぐるみ

ビーズで  
作ったネッ  
クレス

お守り



元気の素！！

- ☆ お母さんの作ったカレー
- ☆ 青春アミーゴ (音楽)
- ☆ 1リットルの涙 (テレビ・本)
- ☆ ハリーポッター (本・映画)
- ☆ たまごっち
- ☆ つり
- ☆ ワンピース (マンガ) など

